

# ニュースレター No.68

## 中秋の名月に想う

一般社団法人福岡県助産師会 会長 上野 恭子

2018年9月24日は中秋の名月、お月見をされましたか？しかしこの日は満月ではなく、翌日の25日が満月でした。幼き日、お月見で一番うれしかったのは月見団子でした。仕事に追われ季節を感じる日々が私自身少なくなっていますが、先日久しぶりに友人と食事をし、その後、曼珠沙華を供えるために摘みに行きました。いつもお彼岸の頃、母が近所に配っていた姿を偲ぶことが出来ました。

今年の夏は、猛暑日が続き、さらに多くの災害が日本の色々な地域で被害報道され、被災者の方々の気持ちを考えると胸がいたみ、お彼岸には被災者の皆様へのお見舞いとご冥福を祈り曼珠沙華を供えました。災害列島の前兆に備えが必要と感じるこの頃です。

福岡県助産師会の歴史の中で、助産師会館に 福岡県庁前にある亀山上皇銅像の前での先輩助産師の集合写真が飾ってあります。その写真を見るたびに今後の助産師会の発展を願い見守っていただいていると感じています。ニュースレターでいつも皆さんに何を伝えたいかと悩みます。今年度も継続して助産師会組織の在り方を考え、継続・発展していくために何をしたらいいかといつも考え、時には夢にも出てきますが暗示さえありません。

助産師として「いのち誕生」から人間の一生を考えた時、宇宙と月と松山城の写真、村上春樹氏の「風の歌を聴け」の一節が心に残りました。これはある講演会でもお話しした内容です。生きているからこそ、前進し、立ち止まり考え、また前進できればと考えています。



松山城と月

村上春樹  
「風の歌を聴け」より

ある日、宇宙を彷徨う一人の青年が井戸に潜った。  
「あゝと25万年で太陽は爆発するよ。」風が彼に  
向ってささやいた。

「何故人は死ぬの？」  
「進化しているからさ。個体は進化のエネルギーに耐え  
ることができないから世代交代する。もちろん、これは  
一つの説にすぎないけどね。」

## 教えてあなたの助産の技 堤式乳房ケア

葉っぱ助産院 山田 葉子

私が堤式乳房マッサージ法の研修生となったのは、2010年の秋。堤式が正式に研修生を受け入れ始めて8年目のことでした。その後1年間の研修を修了し、さらに1年堤式専門母乳外来での勤務を経て、2014年に地元北九州市で乳房マッサージ専門助産院『葉っぱ助産院』を開業しました。

堤式乳房マッサージ法とは、勤務助産師であった堤尚子氏が、満足のいく痛くない確かな乳房マッサージを求め、鍼灸指圧マッサージ師の免許を取得し確立させたマッサージです。

マッサージの基本的な考え方は「東洋医学と西洋医学のコラボレーション（合作）」つまり、基本的には東洋医学の経絡や経穴という考え方や指圧マッサージの理論と主義を基に乳房マッサージを行い、症状によっては西洋医学の化学的療法のメリットを生かして対応していくというものです。

また、堤式の数々の精神として、「お母さんと赤ちゃんの笑顔のために」を合言葉にしています。お母さんにとっての授乳行為は、楽しく愛情豊かなものとなることが一番大切であり、お母さんが笑顔になることで赤ちゃんも笑顔になることを目指した支援を心掛けています。

手技的な特徴としては、以下の3つが挙げられます。

- ① 乳房をもみほぐすのではなく、圧して刺激量を変化させながらマッサージを行う
- ② 断乳の管理方法と断乳手技を明確にした
- ③ 乳房マッサージ手技に肩背・上肢の指圧・マッサージ術を関連させた

これらのことを1年かけて学んでいます。

2018年9月現在、堤式乳房マッサージ法では27名の研修生が在籍しています。北は北海道から南は沖縄まで全国から学びに来ており、これまで研修を終えて認定を受けた者は160名に達しています。認定取得後は、開業する者、施設にて母乳外来を立ち上げる者など様々ですが、少しずつ堤式が全国に広がってきているのを実感しています。

最後に、乳房トラブルで困っているお母さんたちを本当に助けたいと思うならば、確かな知識と技術が不可欠です。私自身、病院勤務時代に何となく乳房マッサージを行っていましたが、研修を受け、自分がいかに何も知らなかったかを思い知り、愕然としたことを覚えています。そして開業5年目となった今でも悩み格闘する毎日です。けれども、学ぶ前と学んだ後では全く違うものが見えています。これからも、1人でも多くのお母さんたちが、私の「手」を通して元気になってくれたら嬉しく思います。



## 研修会報告 (No.2~4) クリニカルラダーについて

教育委員長 吉田 静

9月までに5回の研修会を終えました。「子どもの食とアレルギー」「乳房トラブルの対応方法」では、母子の健康を食事の面から2ヵ月連続で学習し、乳房トラブルでは実演を行いながら熱くご教授いただきました。「妊娠期からのメンタルヘルス」では、講義と現場で遭遇する事例をグループで意見交換しあい、クリニカルラダー承認研修「新生児のフィジカルアセスメント」「産科出血」には多くの方にご参加いただきました。10月は「産前産後の母子の身体ケア」を行い、11月は「医師が伝える男の子の性教育」を予定しています。

2020年にはクリニカルラダーⅢ更新の初年を迎えます。更新に際し、多くの条件があり、計画的に更新準備を進める必要があります。詳しくは日本助産評価機構ホームページ、冊子「アドバンス助産師」をご確認ください。

## 安全対策委員会活動報告

安全対策委員長 澁谷 貴子

9月9日、救急の日に教育委員会と安全対策委員会のコラボ研修会が開催されました。エンゼル病院、理事長の坂井和裕医師を講師に迎え、「産科出血」についての講義を受けました。最近の動向、産科危機的出血に至る分娩者の疾患などを統計から分析し報告がなされました。また、それぞれの事例を通して、死亡症例がどのような経過をたどったのかを詳細にご講義くださいました。羊水栓塞の子宮型が増えている現実など、分娩を取り扱う者として、とても興味深い内容でした。

助産師としては、緊張を強いられる講義の中でも、先生のご興味ある日本史からお産にまつわる日本神話も飛び出し、気持ちがホッと和むようなお写真もたくさん拝見できました。中でも、今は世界遺産になった沖ノ島の現地大祭に出向かれた時のお写真は、決して見ることのできない風景ゆえ感慨深いものでした。

ご講義の後に、「これからの助産師に望むこと」をお尋ねしましたら、「医師も助産師も一つのチームとして頑張ろう！」というご回答でした。妊娠期から子育て期まで、切れ目ない子育て支援の担い手として、医師も助産師も協働していくことの大切さを改めて感じたのでした。医療機関であっても、助産所であっても一つのチームとして充実した関り、連携の強化こそが、妊産褥婦の安全性につながっていくのだという認識をさらに深めました。

今研修は、ラダー対応研修であり、当日は多くの助産師諸氏にご参加頂き盛会に終わりましたことを心より感謝申し上げます。



## 災害対策委員会避難訓練・西日本豪雨災害

災害対策委員会 田中綾子

7月の理事会時に理事会構成員で避難訓練を行いました。まず、「通報」、「初期消火」、「避難誘導」、「応急救護」が必要になります。複数人いれば同時進行です。

「通報」は携帯電話で行います。火災現場の固定電話では逃げ遅れてしまいます。訓練では実際に事前に消防署へ手続きを行い「119番通報」をしました。訓練でも緊張します。冷静に伝えようとすると、避難の足が止まり逃げ遅れてしまいます。（実際訓練で逃げ遅れそうになりました。）

また、7月の西日本豪雨災害では、多くの地区で避難準備指示、避難勧告、避難指示が出されました。豪雨が拡大する中、県助産師会会員の安否確認を行いました。72時間後の結果は安否確認達成率30.2%でした。毎年2月に安否確認訓練を行っていますが、昨年度の訓練時達成率は73%です。災害時の安否確認は緊急時の為達成率は低くなると考えます。また、新理事体制になり間もなくの安否確認でもあり連絡体制が不十分だったのかもしれない。安否確認連絡が来なかったという方は、県助産師会までお知らせください。

災害はいつ起こるかわかりません。台風21号、北海道地震も記憶に新しい所です。12月1日福岡県助産師会 災害対策委員会研修会「助産師の防災意識と行動力を高めよう」が行われますが、例年以上の人気ので既に定員に満たし、受付終了となりました。



## 福岡県助産師会会館における「安全管理合同研修」遠隔配信中止のお知らせ

11月9日・11月10日に、日本助産師会主催の「安全管理合同研修」が行われます。福岡県助産師会館でも遠隔配信を行う予定でしたが、今回は自宅や職場での遠隔配信が可能な研修になっていますので、福岡県助産師会での遠隔配信は中止させていただきます。



## 長谷川まどか

福岡大学病院総合周産期母子医療センター産科部門では、母体・胎児集中治療室（MFIU）および新生児集中治療室（NICU）を整備し、母体や胎児・新生児異常に対して一貫した治療を行うとともに、妊娠・分娩・産褥期の母体の救急医療などにも、24時間体制で対応しています。

平成30年4月からは、特定妊婦への医療、看護の質向上を目指し、コンサルトール外来を開設しました。コンサルトールとはフランス語で「癒し」という意味です。外来初診時に助産師がスクリーニングを行い、精神的問題、社会的問題についてアセスメントしコンサルトール外来につなぎます。コンサルトール外来では、担当の産科医師、精神科医師、心理士、ソーシャルワーカーと協働し、外来から安全安心な養育環境の確立を目標とし、切れ目の無いケア、支援を行います。出産後のお母さんの生活に合わせ、行政の方のアイデアや知識をいただきながら、お母さん、お父さんそして家族へのケア、支援について行政の方と、患者・家族参画型で、検討しています。

産後うつでの自殺者が増える社会で、残念ながら当院でも妊婦、褥婦の自殺例があります。二度とお母さんを死なせない、チームでお母さん、赤ちゃんを支援するという熱く、強い思いで頑張っている産科部門です。



## 学校法人福岡保健学院みずまき助産院ひだまりの家

木の香りいっぱいの、身体に優しい助産院です。  
あかちゃんとそのご家族が笑顔になれるよう、お手伝いさせていただきます。

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14-50

Tel: 093-201-7731 / Fax: 093-201-7741

ホームページ: <http://hidamari-ie.jp> e-mail: [jyosanin@hidamari-ie.jp](mailto:jyosanin@hidamari-ie.jp)



### 3 部会報告

#### 助産所部会 澁谷 貴子

助産所部会は分娩取り扱いの開業者の会員により構成された部会です。対象者の妊娠期・分娩期・産褥期・子育て期に関して、「切れ目なく支援できる助産師」として、各自がビジョンを持ち日々の助産師業務に従事しております。

9月部会の会議の議題は、①福岡県周産期医療協議会の参加②会館建設に関する意見集約③委託事業としての妊婦健康診査について④災害時の母子受け入れの詳細について でした。

① に関して、現在本会はオブザーバーとしての位置づけです。周産期に関わる助産師として安全整備について尽力する事は重要課題であり、今後はオブザーバーではなく、委員会の一員として所属できることを目標にしています。

② は理事会においても重要審議の項目ですが、仮に、会館を建設した場合、支払いが難しいという情報があるにも関わらず、リスクを背負い会館建設に向かう場合は、計画そのものを見直す必要性を指摘し、部会としては会館建設反対の意見書を理事会に提出する予定です。

③ に関してですが、本会では、委託事業費という細目の収益に関して、会員から会に対して一定額を収めるという方針が出されつつあります。現時点では、決定ではありません。しかしながら、そもそも妊婦健康診査は、委託事業というより市町村との契約事業という現状です。妊婦は、妊婦健診を受ける医療機関及び分娩場所を妊婦個人が自由に選べます。市町村の委託事業者で健診や分娩を必ず行うという制約はありません。このような状況下において、あくまで委託事業というならば、すべての契約市町村は、住民に対して助産所の情報を公平に提示する義務があります。市町村からの情報発信は市町村によってかなりの差異が見られます。会として、会員の収入源の一部を会に収めるというルールを作るのであれば、当然ながら市町村に対しての働きかけを行い、その結果「助産所における妊婦健康診査の受診率」がアップしたという結果が見られるという事が、大事な点ではないでしょうか？委託事業費の問題に関しては、理事会で更なる議論が必要です。

④ に関して、今年は日本の各地で天災が多く甚大な被害をもたらしました。災害時は、母子を手厚く守るためにも本会として、被災者母子の受け入れを行う方針でいます。しかし被災者を受け入れた側も長期化すると十分な支援ができなくなる可能性もあり、部会内では、各助産所の意見を取りまとめ、理事会に提出し議論したいと考えています。組織として、専門職の団体として、どんな場合でも同じように支援ができるようにルール作りをしたいと考えています。

部会では、定例会で活発な議論を行っています。開業者の業務安定を図り、和気あいあいとしたチームとしての部会運営を今後も目指しています。



## 保健指導部会 福田 千鶴

保健指導部会では、9月9日に三部会合同研修会「産科出血」を開催しました。61名の方の参加を頂き、充実した研修会となった事をご報告致します。

現在、各市町村では、産後ケアサービスの取り組みが始まっています。会としては、開業助産所の情報提供を行い、積極的に参画できるよう活動しています。

最後にお願いします。本部会への提出物の回収が悪い状況です。会員の方々と、密な連携を取りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 研修会案内

No	開催日	研修会テーマ及び目的	講師	定員
7	11月11日(日) 13時～16時	医師が伝える男の子の性教育	池田 稔医師 池田クリニック院長	60名
8	12月1日(土) 13時～16時	助産師の防災意識と行動力を高めよう 九州北部豪雨から学んだこと ～災害から母子を守るために～ 【災害対策委員会主催】	杉本 めぐみ氏 九州大学 持続可能な社会のための 決断科学センター助教	60名



院長助産師  
澁谷貴子

### 開業助産師の技と知恵を学びませんか

助産ケアを深める会 セミナー随時開催中!  
短期留学制度有り

## しぶや助産院

〒811-4231 福岡県遠賀郡岡垣町旭台3丁目11-5  
TEL : 093-282-3476  
Mail : heartfullmoonbaby@gmail.com

アロマスクール  
**Mother Rose**  
～開講中～

アロマセラピーを学んで  
助産ケアに役立てませんか

しぶや助産院

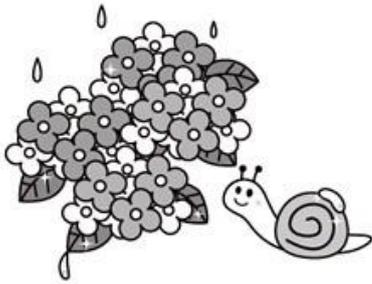
# 産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313

福岡県福岡市南区日佐3丁目  
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



水と、空気と、睡眠と。

TUK 東洋羽毛



Lumone

暖かさに  
包まれる  
贅沢なひととき。



羽毛足首ウォーマー 冷えは女性の天敵!



皆様に愛されて  
24万4,568個\*



◇いつでも ◇どこでも ◇どんな季節も

※2018年2月現在

東洋羽毛九州販売株式会社

福岡営業所 0120-104557

鹿児島営業所 0120-881125

長崎営業所 0120-104203

熊本営業所 0120-382808

宮崎営業所 0120-104039

## ママと赤ちゃんのコンビニエンス

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして  
24時間いつでもご利用いただけます。

GLORY  
汎用機型 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで、ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを  
回転させながら  
商品が  
選べます



投入金額以内の  
陳列コラムの扉を  
1つだけ開けて商品  
を取り出せます



外形寸法: (W×D×H)  
800×685×1830mm・重量150kg



企画・発売元

SEBE セベ産科用品株式会社

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL:(092)472-4316



赤ちゃんの城  
Akachan no Shiro



わたしたちはレイエット・メーカー  
赤ちゃんといっしょの夢をみます。

産院内用ウェア寝具 / 退院時用品  
プランニング & デザイン

わたしたちの商品は全国120店の百貨店で販売され、  
700施設の産婦人科病院で採用いただいています。

株式会社 赤ちゃんの城

TEL:0942-37-8111 FAX:0942-39-5184

「赤ちゃんの城」HP URL <http://www.baby.co.jp/>

# 家づくりに悩んでいる方を ご紹介ください

福岡県助産師会館のすぐ隣にある「助産師と考えた家（福岡市中央区平尾）」が、お陰様で3年目を迎えました。

会員の皆様からいただいた要望を34項目取り入れたこの家は、NHKをはじめ、各報道機関にも取り上げていただき、これまでに延べ350名以上が見学に訪れ多くの反響をいただいております。



助産師と考えた家

## 《 紹介する3つメリット 》

- ① 妊婦や出産後の母子、ご家族へ健康に対する「衣食住」のアドバイスができます  
これまでの「衣」や「食」に対するアドバイスの他に「住」についてもアドバイスができるようになります
- ② 家づくりに悩んでいる方が、「住まい」について比較することができます  
施工技術全国1位の福岡工務店がプロの立場から、住まいの相談にのります
- ③ 会員様個人と福岡県助産師会へ、紹介料をお支払い致します  
ご紹介していただいた方が当社に来社すると会員様個人へ、そして契約まで至ると会員様個人と合わせて福岡県助産師会にも紹介料が支払われるので、会全体でできることがさらに広がります

・ご紹介	→	5,000円(会員様個人)
・ご成約	→	100,000円(会員様個人)
	→	50,000円(福岡県助産師会)

《 紹介からお支払いまでの流れ 》

### 1. 教える

家づくりに悩んでいる方へ、「助産師と考えた家」や「福岡工務店」があることを知らせていただき、家づくりの悩みが解決できることをお伝えください。



### 2. 連絡する

悩んでいる方が詳しく話を聞いてみたいとなったら、希望日や時間を確認し、会員様から当社にお電話、またはメールをください

電話: 092-586-7658  
メール: info@fukuoka-k.jp



### 3. お支払い

ご紹介していただいたお客様が福岡工務店の事務所にご来社して頂いたら、当社から会員様へご連絡致します。その際にお支払い口座を教えてください。後日お振込みさせていただきます。  
※成約に至った場合も同様です

ご相談やご連絡は、担当の「増田（ますだ）」まで

# 092-586-7658



 福岡工務店

メールアドレス: info@fukuoka-k.jp  
受付時間: 9時～18時  
定休日: 水、隔週火  
土・日・祝も営業しています

一般社団法人福岡県助産師会では、会員募集中です！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記のQRコードより福岡県助産師会 HP 入会案内のページに入れます。

または、下記へ連絡をお願いします。

〒811-3507

宗像市多禮 598

田中 啓子（福岡県助産師会 会計）

TEL 090-9721-6590

FAX 092-943-4576（愛和病院内 田中宛）

メール [hiroko.tanaka@aiwa-hospital.or.jp](mailto:hiroko.tanaka@aiwa-hospital.or.jp)



ひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております



#### 【編集後記】

ニュースレターも新しいメンバーになり 今年度2度目の発行となります。まだまだ手探り状態ですが、会員の皆様の向上心が上がるような情報をお届けできればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

広報委員 高橋・松山・長谷川・原武・益永・大島

一般社団法人福岡県助産師会ニュースレター第 67 号 2018 年 11 月

発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 上野 恭子

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <http://www.fukuokajyosanshi.com>